NEC

ExpressUpdate Agent

インストレーションマニュアル

Document Rev.1.01

目次

商標について

ExpressUpdate は日本電気株式会社の登録商標です。EXPRESSBUILDER と ESMPRO、ExpressPicnic、CLUSTERPRO、EXPRESSSCOPE は日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Windows NT、MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel 、Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。Xeon は米国 Intel Corporation の商標です。Datalight は Datalight,Inc.の登録商標です。ROM-DOS は Datalight,Inc.の商標です。Linux は Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。AT は米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Adaptec とそのロゴは米国 Adaptec,Inc.の登録商標です。SCSI Select は米国 Adaptec,Inc.の商標です。LSI-Logic、MegaRAID、Power Console Plus は米国 LSI Corporation の登録商標または商標です。Adobe 、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。DLT と DLTtape は米国 Quantum Corporation の商標です。
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2008 は、Windows Server® 2008 Standard および Windows Server® 2008 Enterprise、Windows Server® 2008 Datacenter の略称です。Windows Vista は、Windows Vista® Business、Windows Vista® Enterprise、Windows Vista® Ultimate の略称です。Windows Server 2003 x64 Editions は Microsoft® Windows Server™ 2003 R2, Standard x64 Edition operating system および Microsoft® Windows Server™ 2003 R2, Enterprise x64 Edition operating system または、Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard x64 Edition operating system および Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise x64 Edition operating system の略称です。Windows Server 2003 は Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 Standard Edition operating system および Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 Enterprise Edition operating system または、Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating system および Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition operating system の略称です。Windows XP x64 Edition は Microsoft® Windows ® XP Professional x64 Edition operating system の略称です。Windows XP は Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft Windows XP Professional operating system の略称です。Windows 2000 は Microsoft® Windows® 2000 Server operating system および Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略称です。Windows NT は Microsoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0 および Microsoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0 の略称です。Windows Me は Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System の略称です。Windows 98 は Microsoft® Windows® 98 operating system の略称です。Windows95 は Microsoft® Windows® 95 operating system の略称です。DOS は MS-DOS®または ROM-DOS®の略称です。

本製品には、OpenSLP から無償で配布されている SLP(Service Location Protocol)、Apache Software Foundation から無償で配布されている Apache Axis2、Apache Rampart を含んでいます。これらの製品については、それぞれの使用許諾に同意した上でご利用願います。著作権、所有権の詳細については以下の LICENSE ファイルを参照してください。
Apache ：<本ソフトウェアをインストールしたディレクトリ>¥axis2c¥LICENSE

■ ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
(4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

本書では、「ExpressUpdate Agent」のインストール手順について説明しています。
ExpressUpdate Agent をご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお使いになるようお願い申し上げます。

■　ご注意

本書での内容は、対象 OS の機能や操作方法およびネットワークの機能や設定方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。対象 OS に関する操作や不明点については、各 OS のオンラインヘルプなどを参照してください。

本書では、管理対象装置全般について、汎用的に説明しています。管理対象装置の製品別の注意事項や制限事項は、管理対象装置に添付されているユーザーズガイドまたは「ESMPRO Manager Ver5 セットアップガイド」を参照してください。

本書に掲載されている画面イメージ上に記載されている名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。また、画面イメージ上の設定値は例であり、IP アドレスなどの設定値についての動作保証を行うものではありません。

■　本書中の記号について

本文中では次の種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。

重要：	**ソフトウェアや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を示します。**
チェック：	**ソフトウェアや装置を取り扱う上で確認しておく必要がある点を示します。**
ヒント：	**知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。**

第1章　ExpressUpdate Agentについて

ExpressUpdate Agent は、ESMPRO/Server Manager で管理された管理対象装置で動作し、管理対象装置のファームウェアやソフトウェアなどのモジュールを、ESMPRO/Server Manager によってリモートから更新することを可能とするソフトウェアです。

第2章　動作環境

ExpressUpdate Agent は管理対象装置にインストールしてください。
ExpressUpdate Agent を動作させることができる環境は以下のとおりです。

■ ハードウェア

ESMPRO/ServerManager の管理対象装置で、かつ、以下の条件を満たしていることが必要です。

- **管理対象装置**

・ Express5800 シリーズ

- **メモリ**

512MB 以上

- **ハードディスクの空き容量**

100MB 以上

■ ソフトウェア

- **OS**

Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (SP1 以降)
Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition
Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition (x64 SP1 以降)
Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition (x64)
Microsoft Windows Server 2008 Standard/Enterprise/ServerCore
Microsoft Windows Server 2008 Standard/Enterprise/ServerCore (x64)

Microsoft Windows XP Professional (SP2 以降)
Microsoft Windows XP Professional (x64 SP2 以降)
Microsoft Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise
Microsoft Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise(x64)

重要：

- 以下の環境の場合、ExpressUpdate Agent のインストールをサポートしていません。
  ・Hyper-V をインストールした場合

- **その他**

ExpressUpdate Agent を利用するために、以下のソフトウェアがインストールされます。
・OpenSLP (ExpressUpdate Agent が自動的にインストールします。)

チェック：

- OpenSLP が既にインストールされている場合は、ExpressUpdate Agent をインストールすることができません。OpenSLP をアンインストールしてから実行してください。
- ExpressUpdate Agent は他の SLP ソフトウェアがインストールされていると、正常に動作しない可能性があります。ExpressUpdate Agent をインストールする前に、他の SLP ソフトウェアはアンインストールしてください。

第3章　ExpressUpdate Agentのインストール

3.1　ExpressUpdate Agentのインストール(Windows)

ExpressUpdate Agent をインストールする場合について説明します。

3.1.1　インストールを始める前に

ExpressUpdate Agent のインストールを始める前に、以下のことを確認してください。
・2 章の動作環境を満たしていること。
・Administrator 権限で Windows にログインしていること。

3.1.2　インストールメニューの起動

以下の手順で ExpressUpdate Agent のインストールを実行してください。

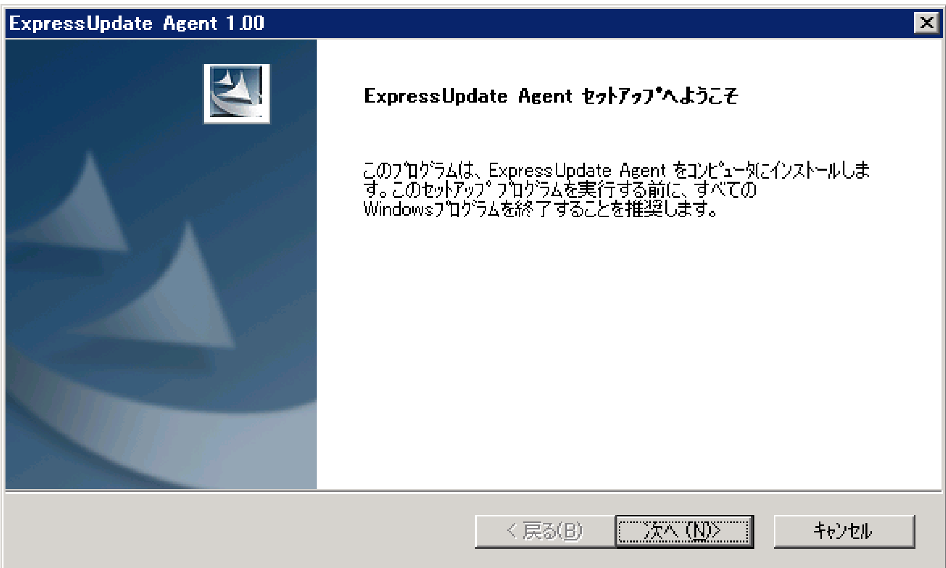
(1) Windows が起動している管理対象装置上で、EXPRESSBUILDER を DVD ドライブにセットしてください。
Autorun 機能によりメニューが表示されます。

(2) 「ESMPRO セットアップ」から「関連ユーティリティ」-「ExpressUpdate Agent」をクリックしてください。ExpressUpdate Agent のインストールが開始されます。

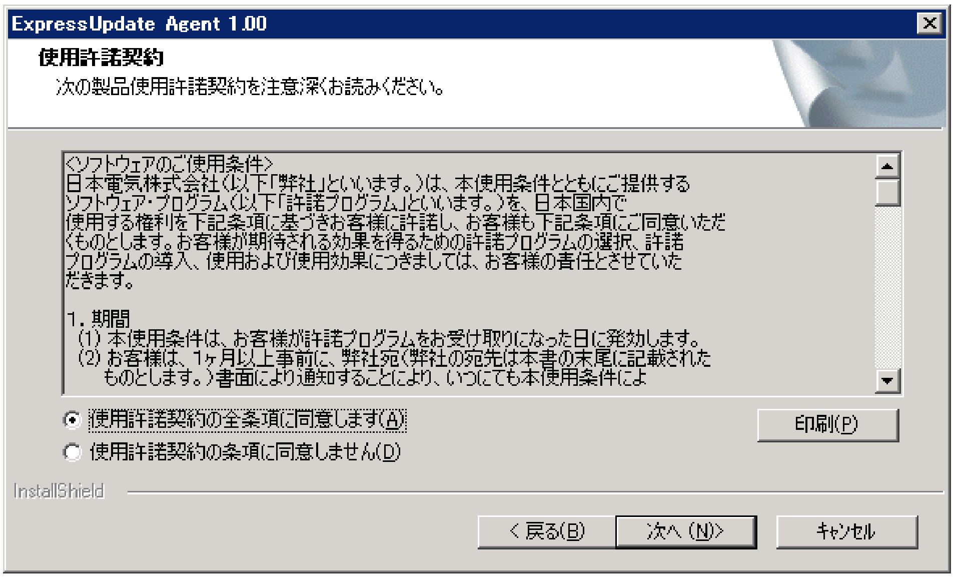
3.1.3　ExpressUpdate Agentのインストール

ExpressUpdate Agent をインストールします。

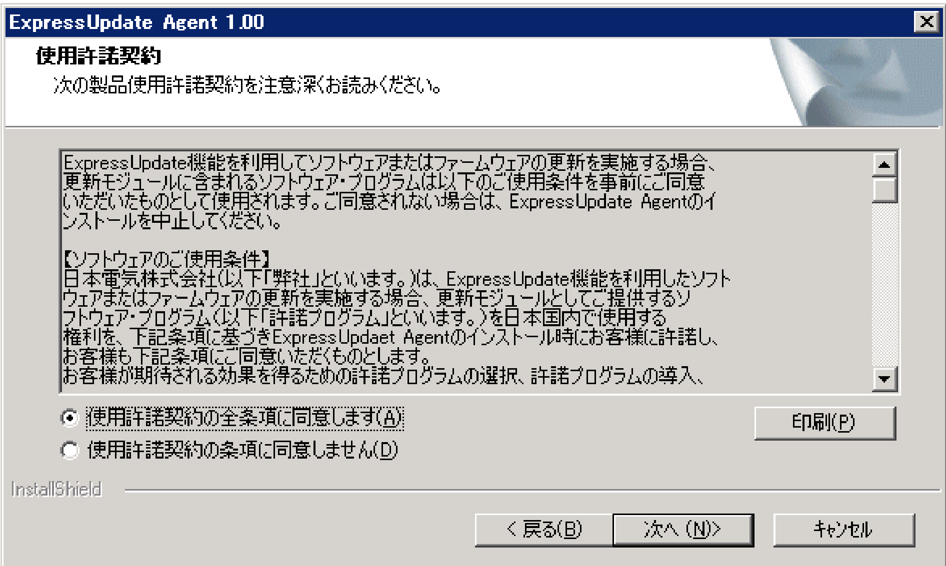
(1)　ExpressUpdate Agent のインストーラが起動します。「次へ」ボタンをクリックしてください。



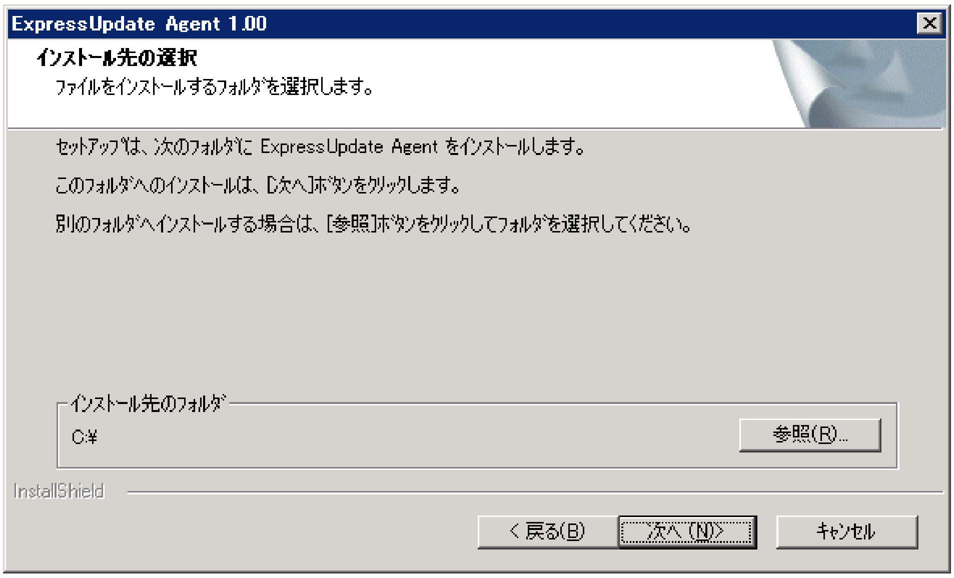
(2) ExpressUpdate Agent に対する使用許諾を熟読の上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



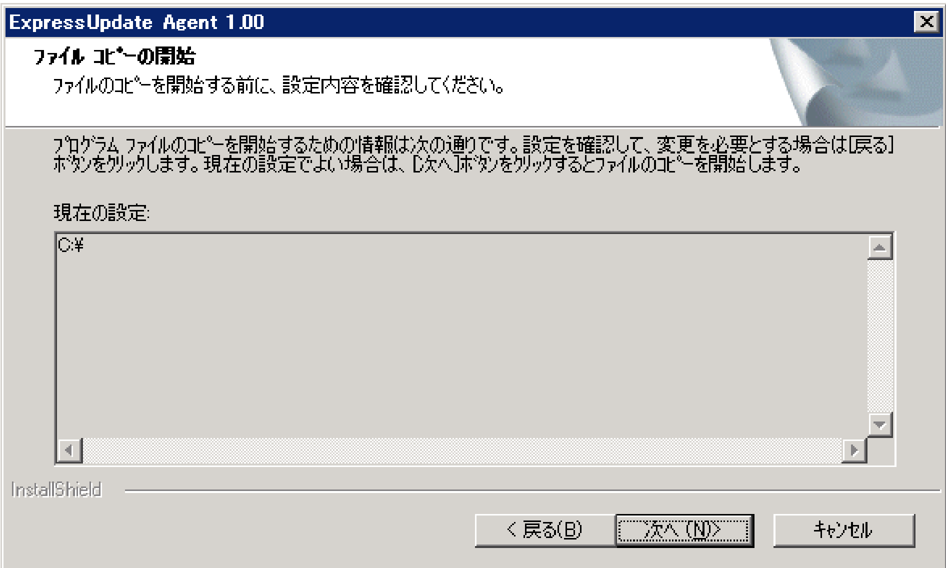
(3) 更新モジュールに対する使用許諾を熟読の上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



(4) インストール先のディレクトリ名を入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。



(5) 設定した内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。インストールが開始されます。



ヒント：

- インストール完了後､以下の方法で ExpressUpdate Agent が正常にインストールされたかどうかを確認できます。
  「スタート」-「管理ツール」-「サービス」をクリックし、「eciService」、「ExpressUpdate Agent」、「Service Location Protocol」が開始状態になっていれば、インストールは正常に完了しています。

3.2　ExpressUpdate Agentのアンインストール(Windows)

Windows の「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」からアンインストールします。「ExpressUpdate Agent」を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックしてください。表示される指示に従ってアンインストールしてください。

第4章　注意事項

4.1　インストールについて

・ ExpressUpdate Agent は、現在インストールされているバージョンから古いバージョンへダウングレードできません。古いバージョンを使用する場合は、一旦アンインストールしてから、再度インストールしてください。但し、アンインストールすると、それまでの情報はすべて削除されますのでご注意ください。

・ ExpressUpdate Agent (Windows)を CD-ROM 等の媒体上のインストーラを使用してアップグレードするときに、ディスクを要求するメッセージが表示されて、アップグレードできない場合があります。この場合、CD-ROM 等の媒体からハードディスク上にインストーラをコピーしてからアップグレードしてください。

4.2　OSのIPを変更した場合について

管理対象装置の OS の IP アドレスを変更した場合は、ExpressUpdate Agent に変更後の IP アドレスを認識させるために、以下のプログラムを実行してください。

・ < ExpressUpdate Agent をインストールしたディレクトリ>¥axis2c¥bin フォルダ内にある「ServiceReStart.bat」をクリックしてください。

「eciService」、「ExpressUpdate Agent」、「Service Location Protocol」が再起動され、最新の状態に更新されます。

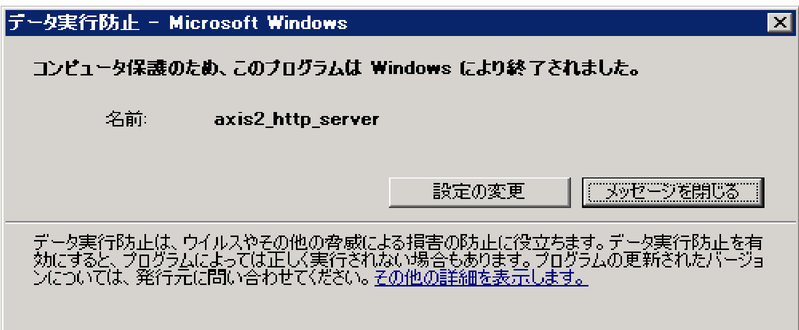
4.3　Windowsファイアウォールについて

ExpressUpdate Agent は、インストール時に管理対象装置のファイアウォール例外プログラムとして、以下を自動で登録します。

・ axis2_http_server
・ slpd

4.4　Windowsデータ実行防止機能(DEP)について

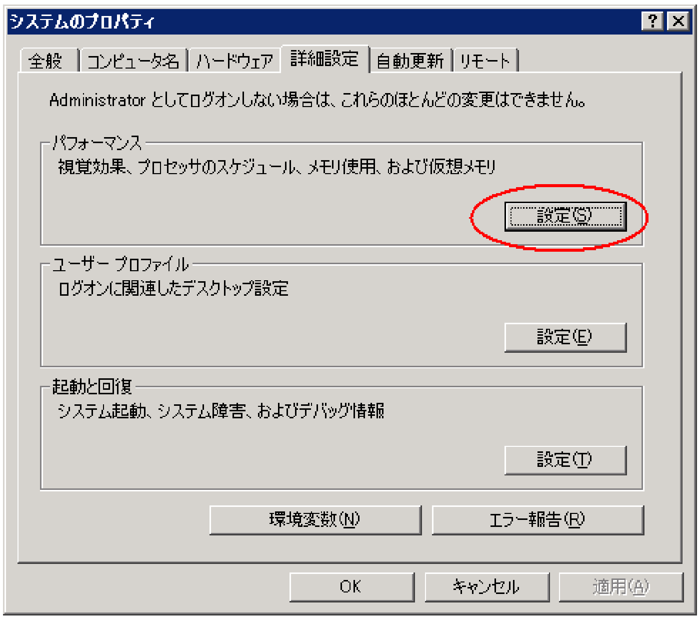
ExpressUpdate Agent を使用中に、Windows のデータ実行防止機能(DEP)のために、以下のようなダイアログが表示されることがあります。



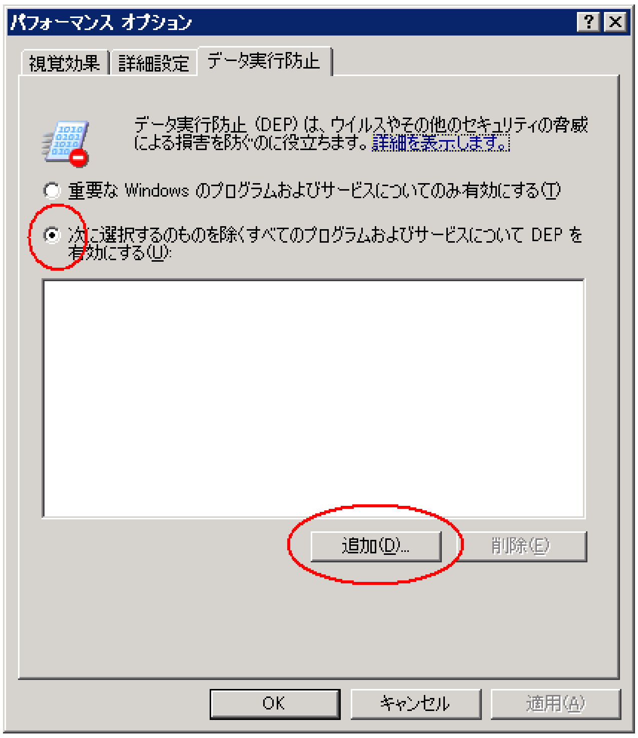
この場合、管理対象装置で以下の設定を行って、プログラムを DEP の対象外に設定してください。

(1) Windows の「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

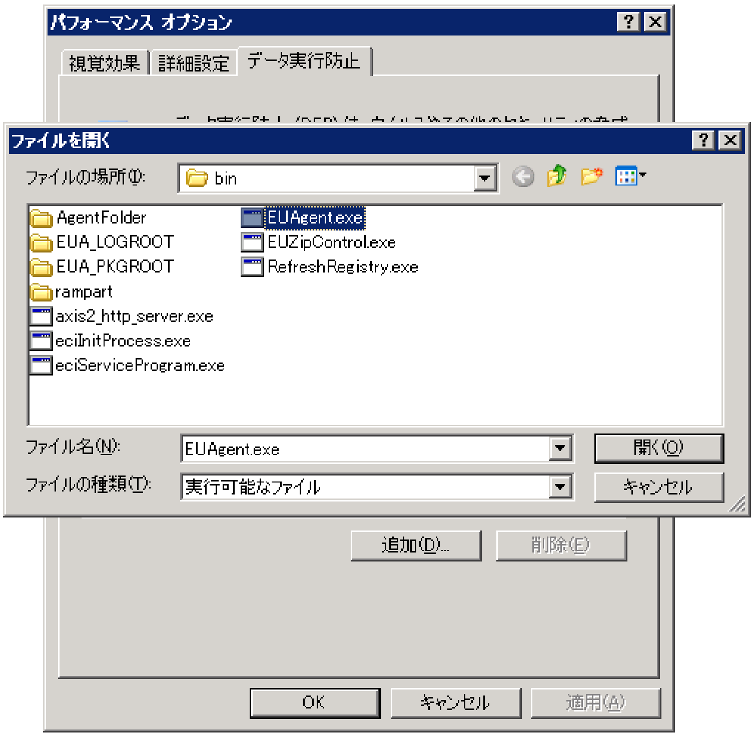
(2) システムのプロパティ「詳細設定」タブ内にある「パフォーマンス」の「設定」ボタンをクリックしてください。



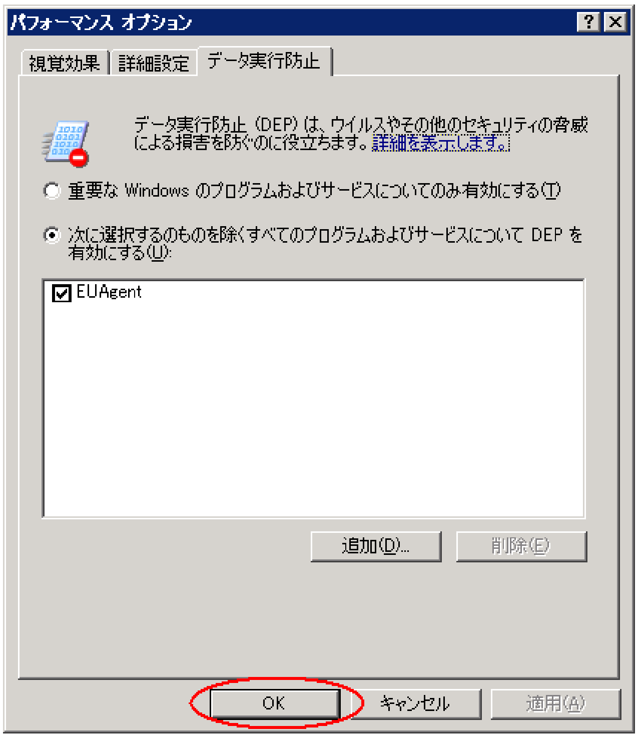
(3) パフォーマンスオプションの「データ実行防止」タブ内にある「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする」を選択し、「追加」ボタンをクリックしてください。。



(4) 開かれたダイアログから、ExpressUpdate Agent がインストールされているフォルダに移動し、「EUAgent.exe」を選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。
（OS が C ドライブにインストールされている場合､EUAgent.exe はデフォルトでは C:¥axis2c¥bin フォルダの下にインストールされます）



(5) 以下のような画面になっていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。



(6) OS の再起動が要求された場合は、OS を再起動する。

Revision History

1.00	2009/02/04	**新規作成**
1.01	2009/02/12	Apache Software Foundation **の** LICENSE **条文を修正**

ExpressUpdate Agent インストレーションマニュアル